

## 目標達成計画

作成日：平成 22 年 5 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	クレド(理念)は徐々に浸透してきているが、職員全員が出来ていないように感じる。職員一人ひとりが理念の内容を理解し、自分にとってクレドがどういう行動指針になっているか考え、行動を振り返り職員全員が同じ目標を持って支援する。	好感を持って頂くための五つのポイント守っていきます。の中から、1. 身だしなみ・服装(重視すべきは、「おしゃれ」より「清潔感」)を目標に身だしなみチェックリスト表の項目すべて、職員全員〇印が付くようにする。	1カ月に2回、身だしなみのチェックを行う。職員が持ち回りでチェックをして、お互いが注意し合える環境を作る。ミーティングや朝礼の際の唱和をする。職員に納得されるまで、継続的な浸透活動を行う。	6ヶ月
2	23 31	入居者様の高齢化が進み、徐々に身体的な低下が見られ、また疾患がある為、健康問題のリスクが高い。	その人らしい暮らしが続けられるように支援する。	日頃の健康観察を行い、職員の情報交換を密にする。異常時は速やかに対応し受診する。訪問看護ステーションとの連携を密にし助言や相談をする。少しでも出来るところは、ご自分でして頂き、その人らしい生活が保てるように援助する。	12ヶ月
3	36	入居者様に対する声かけが、時折馴れ合いになることがある為、職員間での話し合いが必要である。	職員全員で、一人ひとりの人格やプライバシーを尊重した声かけを日頃から出来るようにしていく。	カンファレンスや日常の話し合いの中で、声かけについて考え、職員同士で注意を行い意識を改善する。	12ヶ月
4	13 26	新人職員が入り、馴染みの職員が少ない為、マニュアルの統一が出来ていない。	職員同士で日頃から話し合う機会を作り、入居者様のより良いケア・対応の向上に努める。	職員全員でマニュアルの見直しを行い、ケアの統一を図れるようにする。マニュアルの変更があれば、その都度職員へ対応について説明するようにする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。